

令和5年2月13日（月）

第11回「令和の日本型教育」を推進する地方教育行政の充実に向けた
調査研究協力者会議

学校の自律的経営を推進する学校裁量予算の拡大と コミュニティ・スクールの取組について

春を
祝う。50TH

KASUGA CITY 50TH ANNIVERSARY
令和4年4月1日 春日市制50周年

春日市教育委員会

学校教育課学校保健担当

課長補佐 岡崎 麻理子

地域教育課こども共育担当

統括係長 宮本 敬一

◆ 春日市の概要(市勢等)



令和4年3月末現在

人口	112,737人
世帯数	50,252世帯
平均年齢	43.75歳
高齢化率	22.79%
面積	14.15km ²
人口密度	7,967人/km ²

- 福岡市の南部に隣接する住宅都市
- 九州・沖縄で最も人口密度が高い
- 人口当たりの正規職員数は、全国の市町村で最も少ない
- 毎年人口の5%が転出入 ⇒ 地域づくりは重要課題
⇒「協働のまちづくり」への取組 (H21 自治会制度改革)

◆ 春日市の概要(小中学校)

小学校数	中学校数	児童数	生徒数
12校 (17~36学級)	6校 (17~25学級)	7,370人 (317~919人)	3,693人 (403~754人)

◆ 学校の自律的運営を推進する学校裁量予算の拡大

◆ 学校裁量予算の仕組み

◆ 学校裁量予算の拡大に関する学校の反応

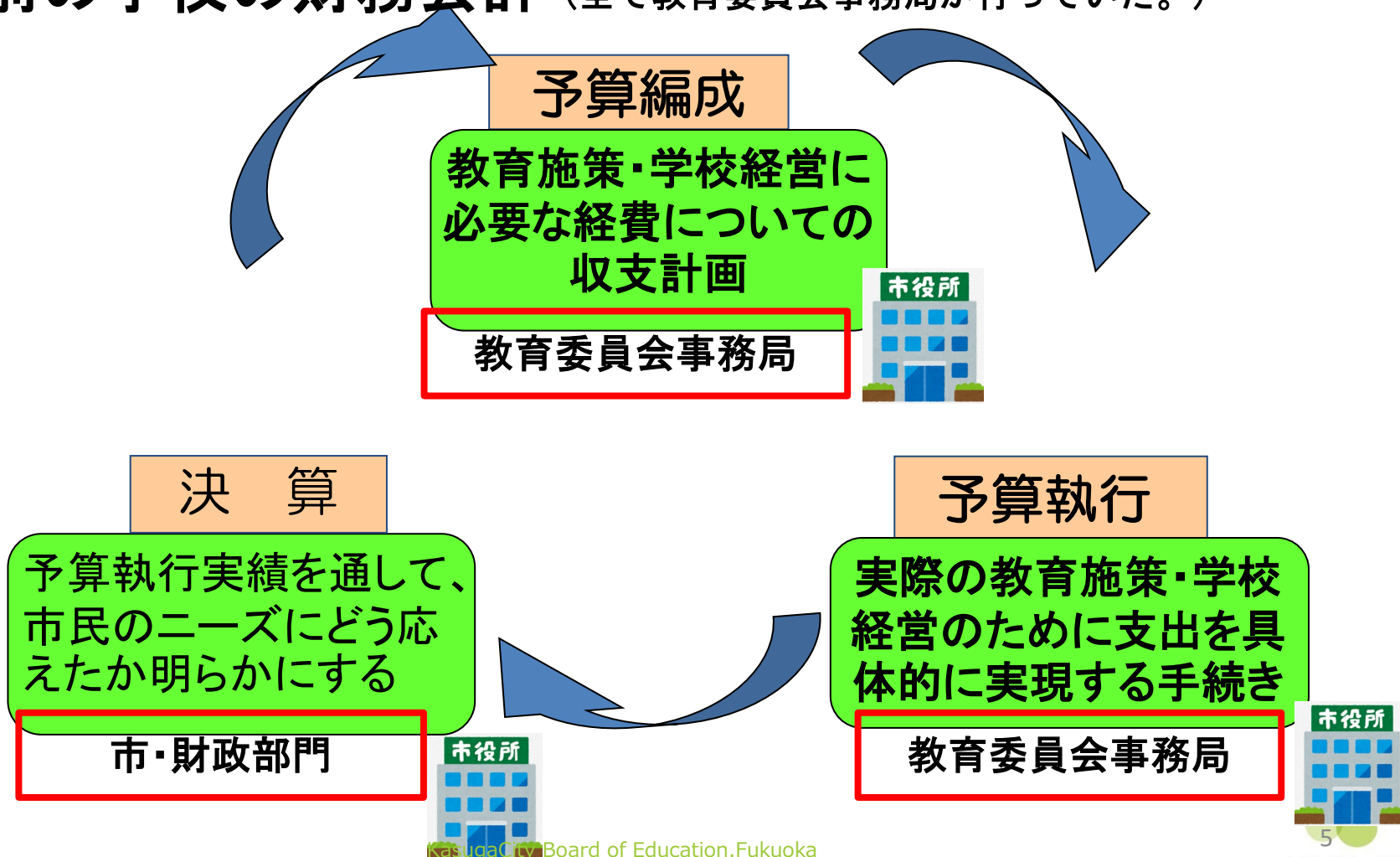
◆ 実施に当たり教育委員会として工夫した点

◆ 学校裁量予算によって進んだ学校の取組

◆ 学校裁量予算の仕組み

はじめに～学校裁量予算に至るまで（平成13年度以前）

以前の学校の財務会計（全て教育委員会事務局が行っていた。）



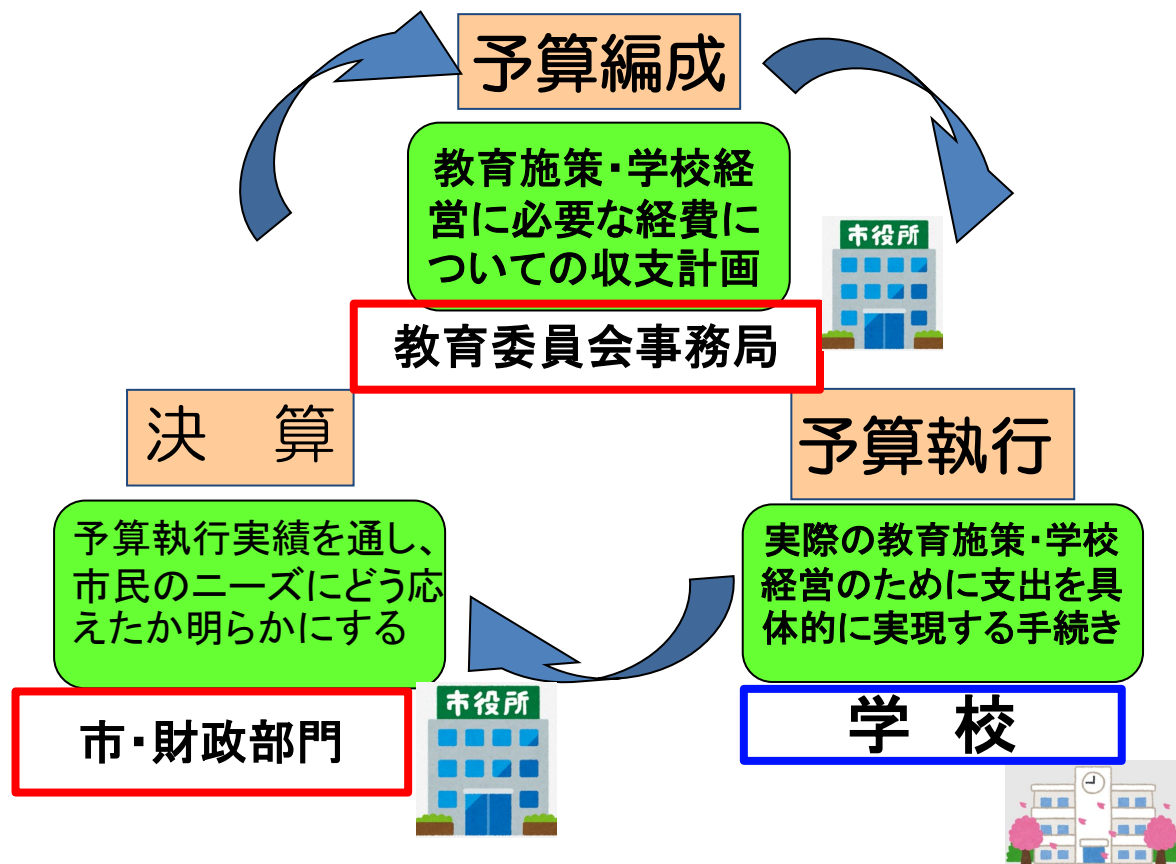
◆ 学校裁量予算の仕組み

平成14年度 予算執行権の学校長への委譲

【目的】

①教育委員会事務局の予算執行業務を軽減することにより、政策形成機能の向上を図る。

②学校経営の主体性を確立し、特色ある学校づくりに向けた環境整備を推進する。



◆ 学校裁量予算の仕組み

委譲した予算執行権の対象費目の拡大

年度	委譲した予算執行権の主な対象費目
平成14年度	管理用消耗品、来客用食料費、電気料、水道料、修繕料(施設、備品、窓ガラス)、飼料費、電信料、原材料費、授業用消耗品費、給食用消耗品費
平成15年度	上記＋ 図書購入用消耗品費、写真プリント用印刷費、地域人材講師謝金、教材用備品購入費、特学用備品購入費
平成16年度	上記＋ 印刷物印刷費
平成17年度	上記＋ 研究発表会用講師謝金、同食糧費、同印刷費、クリーニング用役務費、庁用・保健用備品購入費

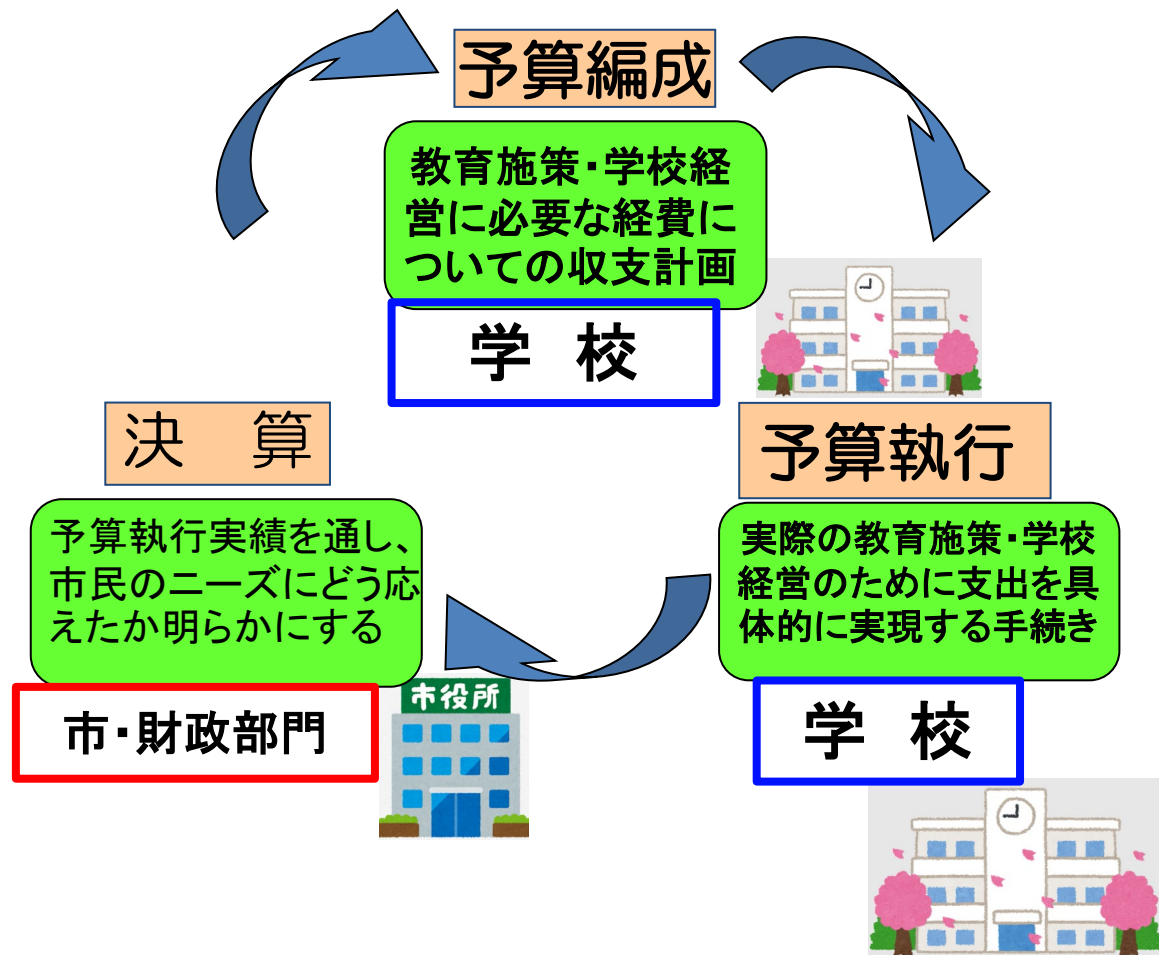
◆ 学校裁量予算の仕組み

平成16年度 予算編成権の学校への委譲

【目的】

学校の自主性・自律性を確立

特色ある学校づくりの実現に向けた学校裁量権の拡大



◆ 学校裁量予算の仕組み

学校予算総枠配当方式

予算科目					学校名 ()		
款	項	目	節	細節	品名	予算番号	金額 (千円)
10	3	1	11	1	消耗品費 (管理用)		
←	←	←	←	←	←	←	←
←	←	←	←	←	←	←	←
←	←	←	←	←	←	←	←
←	←	←	←	←	合計 (総枠配当額)		16352

◆ 学校裁量予算の仕組み

学校予算総枠配当方式

春日市立学校管理運営規則(抜粋)

(予算委員会)

第34条 校長は、第31条の予算要望書及び前条の予算執行計画を作成するに当たり、予算を審議する委員会(以下「予算委員会」という。)を設置するものとする。

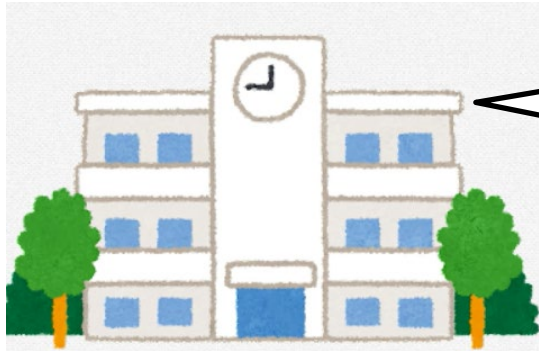
2 予算委員会の運営については、校長が別に定める。



校長、教頭、事務職員
主幹教諭、学年主任等が
参加して行います。

◆ 学校の自律的な運営を支える体制の構築について

学校予算総枠配当方式の実施がもたらした効果



予算に裏付けられた実践的な学校独自の取組の策定へとつながった。

定型業務のスリム化により政策形成機能が強化された。



学校は、教育委員会の指示や意向を重視する従来の姿勢から、主体的な判断をするように変化。教育委員会は、前例踏襲の傾向を改め、積極的に改革を進める姿勢へと変化。

教育委員会と学校の関係が、縦（指揮命令関係）から横（支持、支援関係）へと転換

◆ 学校の自律的な運営を支える体制の構築について

学校と教育委員会の横のつながりを更に高める取組として

教育長出前トークの実施（平成17年～）



【目的】教育長と教職員の意見交換を通して、次のことを実現するための機会とする

- ①教育長と春日市教育行政に関する想いや考えを及びその方向性について教職員と共有を図る
- ②各学校の教育課程等の現状を相互に理解し、解決の方向性や具体的支援を明らかにするとともに、学校と教育委員会双方向の関係構築を図る

【参加者】

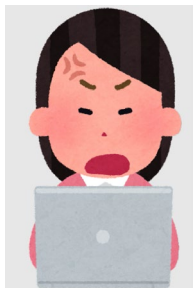
- （教育委員会）教育長、教育委員、指導主事・指導主幹、部長、課長
テーマに関係する行政職員
- （学校）全教職員の参加を基本とする

【実施方法】

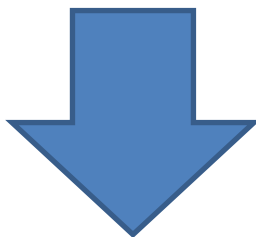
- ・各学校が設定したテーマをもとにグループ協議形式で実施する
- ※教職員のグループに教育委員会関係者が混じって協議を行うため、教育長や教育委員等と担任等の教職員が、率直に意見交換できる場となっている

教育委員会と学校とのコミュニケーションの場を維持することで、自律的な学校運営を支援する関係性の構築につながる

◆ 学校裁量予算の拡大に関する学校の反応(開始当初)



学校予算を扱う学校事務職員
(県費職員)の負担増は？



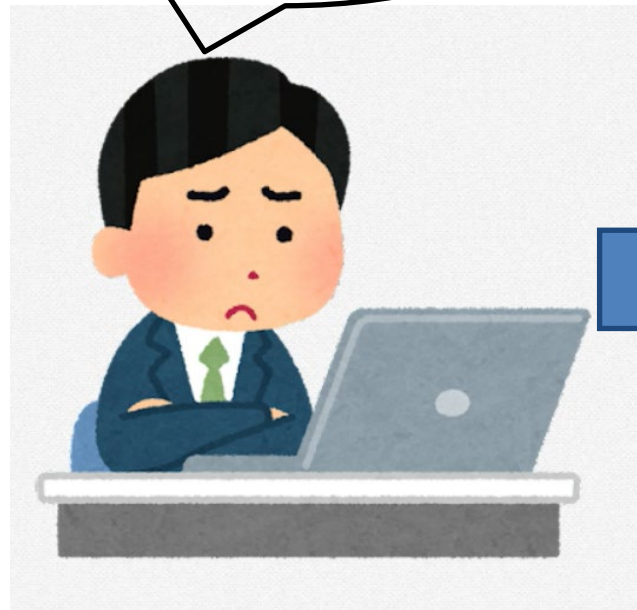
教育委員会は、学校事務職員
が校長、教頭と共に学校経営に
積極的に携わる絶好の機会と
捉えました。

◆ 学校裁量予算によって進んだ学校の取組

学校の固定電話の
電話代が高いなー。

夏休みに職員に研修を実施

電話代を押しさえるために、
公用の携帯電話を活用し
ましよう！



◆ コミュニティ・スクール(CS)に関する説明の概要

1 学校裁量予算とCSの関連

2 学校経営の自律化とCSの必要性

3 春日市におけるCS推進に関する取組

※ 以降、学校運営協議会と地域学校協働活動を合わせて「コミュニティ・スクール」と表記しますので、御了承ください。

◆ 学校裁量予算とCSの関連

学校ごとの特色ある取組の実施に当たり、予算措置が容易に

地域連携カリキュラムに係る講師謝金

学校運営協議会用の消耗品費

学校要覧や広報用リーフレットの印刷費

学校運営協議会での予算説明は、学校事務職員が主務者として実施

学校事務職員の経営意識向上・人材育成

チーム学校づくり

◆ 基盤としてのCS及び地域学校協働活動



◆ 学校経営の自律化とCSの必要性

学校経営の責任者である校長が
ビジョンを描きやすい環境整備

学校経営の自律化に支えられた
CSの推進

プラス行政による伴走支援（教育
委員会・首長部局連携）

単なる教育施策に留まらず、
まちづくりにまでつながるCSの実現

◆ 春日市における自律化(権限移譲と予算の裏付け)

市民と行政による「協働のまちづくり」

権限移譲 = 自治会組織の再編成 (まちづくりの主体。行政とはパートナー)

予算の裏付け = まちづくり交付金の創設 (使途を決定できる一括交付金)



CSの推進

権限移譲 = 学校管理運営規則の全面改正による学校の裁量拡大

予算の裏付け = 予算原案編成権・予算執行権の移譲

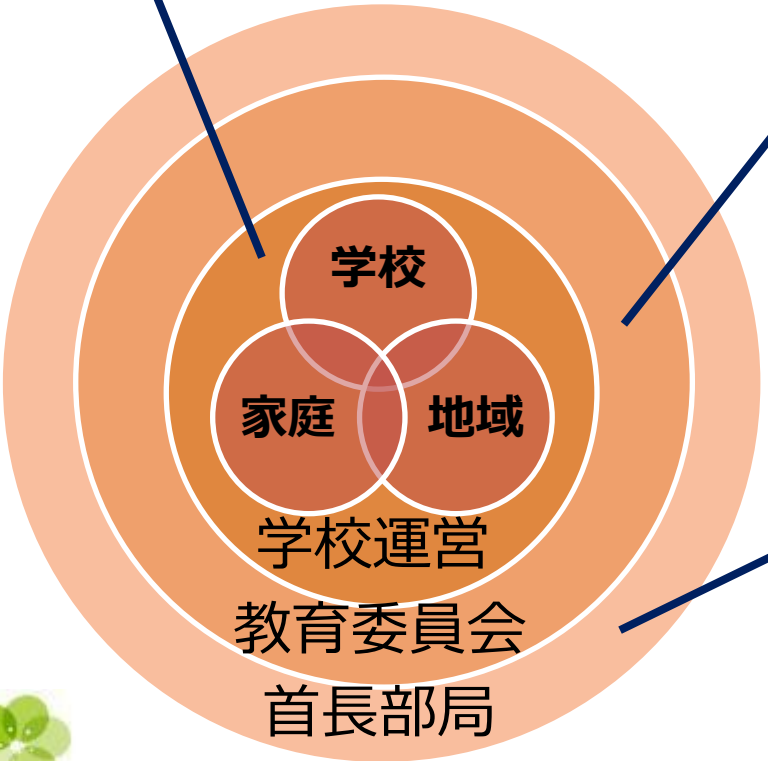
(学校予算総枠配当方式の導入)

◆ 学校における働き方改革への効果



学校経営要項・構想図に家庭・地域の役割・取組を定めている
(画像は春日小学校 経営構想図の一部抜粋)

◆ 行政による伴走支援(市教委・市長部局連携)

学校の取組	学校・家庭・地域の基本的役割	
<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会の充実 ■社会に開かれた教育課程の整備・充実 ■市民性評価の実施 ■組織状況の自己診断実施 	学校	基礎的・基本的な学びの育成
	家庭	基本的な生活習慣の育成
	地域	安全・安心な明るい地域づくり
	教育委員会の取組 <ol style="list-style-type: none"> ①評価:CS進捗状況評価によるPDCAの継続的实施 ②総括:整理、価値付け、意味付け ③動きの誘導:熟議の推進、「四者」によるCS ④広報:直接広報、間接広報とも活用 ⑤研修:体系的・計画的なCS関連研修 	
	首長部局の取組 <ul style="list-style-type: none"> ■組織再編「地域教育課」新設 ■自治会制度改革 <ul style="list-style-type: none"> ・地区世話人制度の廃止 ・まちづくり交付金制度 ・自治会連合会の設立 	

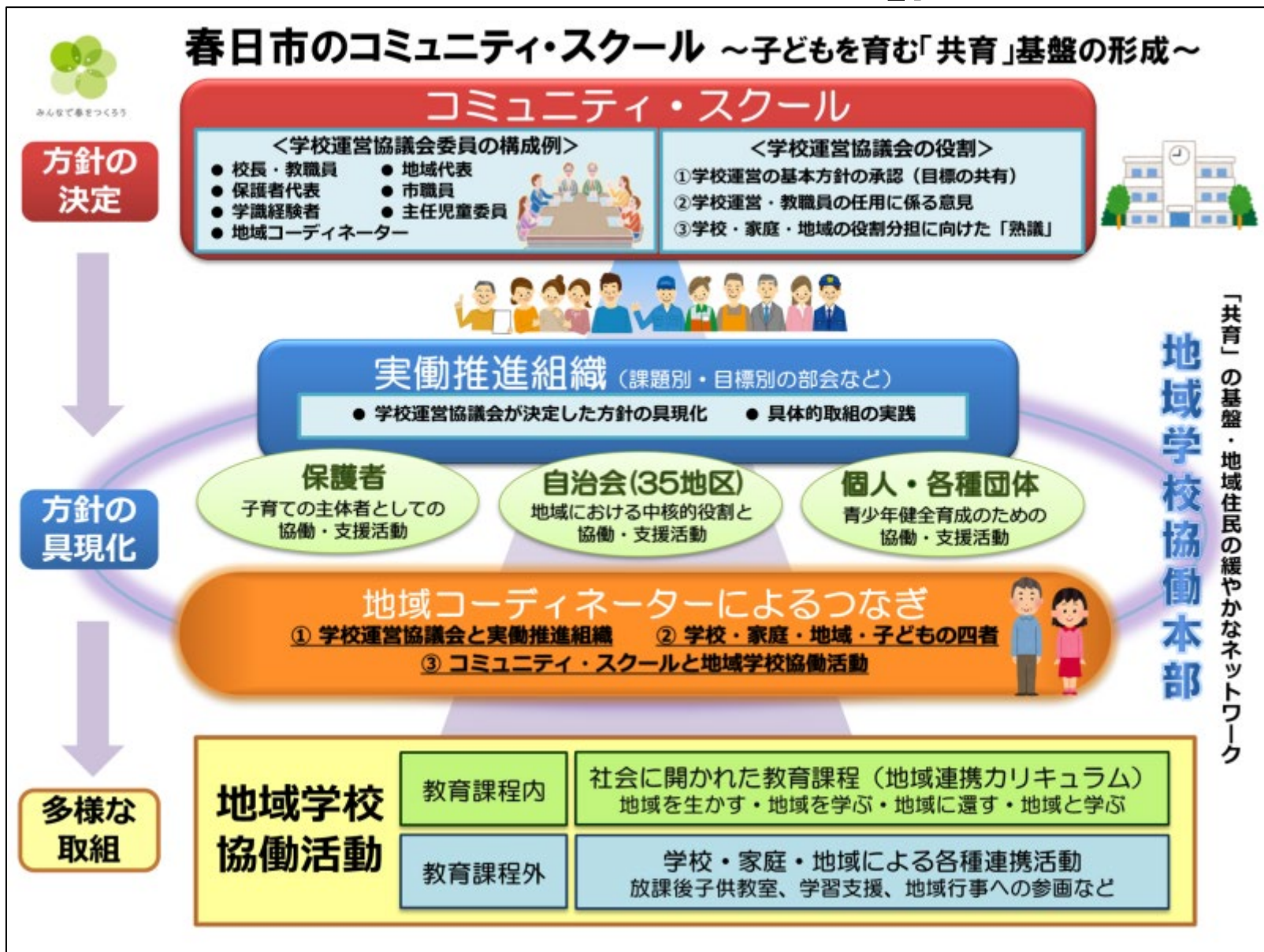


◆ 市教委による継続的支援①：評価

令和2年度【小学校】コミュニティ・スクール進捗状況評価結果（前年度との比較）

4段階評価(4 そう思う 3 概ねそう思う 2 あまりそうは思わない 1 思わない)	R2後期	R1後期	差
	評価結果	評価結果	
I 共育文化醸成の進捗状況			
1 コミュニティ・スクールの組織と運営	2.8	3.2	-0.4
① 学校運営協議会での協議や熟議は充実していますか。	3.1	3.4	-0.3
② 学校運営協議会に子どもたちが参加していますか。	2.4	3.1	-0.7
③ 実働推進組織や支援組織等による取組は進んでいますか。	3.0	3.2	-0.2
2 学校の目標・課題の四者による共有化	3.0	3.1	-0.1
① 学校運営協議会で学校の教育目標や経営の基本方針、課題等を共有できていますか。	3.2	3.2	0.0
② 子どもたちは、めざす子どもの姿を知っていますか。	3.0	3.1	-0.1
③ 教職員と学校の教育目標や経営の基本方針、課題等を共有できていますか。	3.2	3.2	0.0
④ 保護者と学校の教育目標や経営の基本方針、課題等を共有できていますか。	2.8	2.9	-0.1
⑤ 自治会（地域）と学校の教育目標や経営の基本方針、課題等を共有できていますか。	3.0	3.1	-0.1
3 学校と保護者・地域住民との双方向の関係構築	3.3	3.4	-0.1
① 地域は、学校の教育活動に協力的ですか。	3.4	3.5	-0.1
② 保護者（PTA）は、学校の教育活動に協力的ですか。	3.3	3.2	0.1
③ 管理職や教職員は、地域の行事や活動等に協力的ですか。	3.2	3.5	-0.3
④ 地域コーディネーターは、学校と地域とのつなぎ役になっていますか。（地域CD配置校のみ）	3.4	3.4	0.0
4 コミュニティ・スクールの認知	2.9	3.0	-0.1
① CSの目的や仕組み、取組について、教職員へ周知されていますか。	3.2	3.2	0.0
② CSの目的や仕組み、取組について、子どもへ周知されていますか。	2.7	2.9	-0.2

◆ 市教委による継続的支援②：総括 ～春日市版「CSと協働活動の一体的推進」仕組図



◆ 市教委による継続的支援③：動きの誘導、④：広報

熟議のテーマ

「命と生活を守る学校防災・地域防災のあり方」(春日東小)

学校では、災害時に子どもを確実に保護者へ引き渡す訓練を行っています。しかし、子どもたちの命を守るには、さらなる地域・保護者・行政との連携が必要です。(学校)

コミュニティ・スクールの特性を生かし、災害時の学校・家庭・地域の役割についてルールを作ってはどうかでしょう。(PTA)

小学校と中学校が合同で訓練している校区もありますよね。同じように取り組めないでしょうか。(PTA)



自治会では中学校区単位で合同の防災訓練を実施していますよ。情報を共有することが大事ですね。(自治会)

そうですね。意見を出し合って情報共有することで、学校と地域の思いが繋がってきますね。(自治会)

学校運営協議会での「熟議」

コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会は、自治会、PTA、教職員(校長・教頭・学校事務職員)、民生委員・児童委員または主任児童委員、学識経験者、地域コーディネーター、行政職員などで構成されています。学校運営協議会では、さまざまな立場の人たちが、学校経営・運営のあり

方や子どもたちが抱える教育上の課題などを解決するため、「熟議」を行っています。「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。その結果は、コミュニティ・スクールでの取り組みに反映されていきます。

◆ 市教委による継続的支援③：動きの誘導、④：広報



▲学校運営協議会への児童の参加(大谷小)

子どもたちのコミュニティ・スクールへの関わりは、一歩先に進みつつあります。子どもたちは今、学校・家庭・地域に支えてもらうだけでなく、地域の一員として自治会行事に参画するなど、地域に貢献し、還元する活動を多く行っています。また、学校運営協議会にも参加し、委員の大人たちと堂々と意見交換する姿も見られます。

地域行事の一部を自分たちで企画・運営したり、多くの市民と関わったりする体験は、子どもたちの社会に関わる力（市民性）、自己有用感やコミュニケーション能力の向上などにつながっています。

子どもたちを加えた「四者」による
コミュニティ・スクール



▲地区夏祭りでの司会（白水小）



▲地域清掃活動（春日北小）

◆ 市制50周年記念事業動画「協働のまち かが」



▲動画掲載先
二次元バーコード
(YouTube春日市
アカウントへ)

春日市ウェブサイト トップページに掲載

健やかに育つ子どもたちの姿を軸に、「協働のまち」を支える市民のインタビューや地域活動の様子から、人と人のつながりを描いた動画です

◆ 地域CD配置の効果 + α



リーフレット「わたしたちの9年間 地域との関わり」
(市教委と地域学校協働活動推進員の共同制作)

子どもと地域 9年間の関わり

小中学校の9年間で、子どもと地域（自治会、地域人材や保護者）が関わる教育活動を表にしたものです。春日市では、学校ごとに地域等の実情に応じて、学校・家庭・地域が協働する取組を繰り返しています。なお、掲載内容は、令和元年度～3年度の情報に基づいており、変更される場合があります。

	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
 春日小学校 <small>ホームページ</small> 	公園へいこう ☆お遊戯しよう 幼稚園・保育園との交流 	おいも名人 町探検 ☆バスに乗ろう 	☆地域のことを知ろう もっと知ろう 私たちの町 火災からくらしを守る じょうぶな歯 わたしたちのくらしと商店 七輪体験 	☆キャリア教育 自転車教室 われらごみ調査隊 	自然教室 けがの防止 ☆地域で暮らす方と 交流しよう 	☆サマースクール (中高大学生からの アドバイスに学ぶ) 長崎から世界を見よう (敬愛者体験談) 	中2・中3 かすが塾 地域の大人や近隣大学生がゲストティーチャーとなり、受講もできる「大人参加型授業」 写真左：5D6sについて勉強中 (福岡文芸院大学が協力) 右：シトラスリボンづくり 	中2・中3 かすが塾 地域の大人や近隣大学生がゲストティーチャーとなり、受講もできる「大人参加型授業」 写真左：5D6sについて勉強中 (福岡文芸院大学が協力) 右：シトラスリボンづくり 	中2・中3 かすが塾 地域の大人や近隣大学生がゲストティーチャーとなり、受講もできる「大人参加型授業」 写真左：5D6sについて勉強中 (福岡文芸院大学が協力) 右：シトラスリボンづくり 
特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ	特別活動 小1～6 読み聞かせボランティア「かすがっ子お話し会」の読み聞かせ
CS実働部会 	CS実働部会 学力育成部会 体力育成部会 心身育成部会 安全力育成部会	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練	CS実働部会 サマースクール・家庭学習強化推進 夏休み子どもくッキング・親子お弁当の日 親子でうさぎのお世話ボランティア 本のバトン・☆あいびつキャンペーン おやじの会自転車教室、引き渡し訓練
 須玖小学校 <small>ホームページ</small> 	つくろう あそぼう なつだ あそぼう 古たのしい秋 もうすぐ2年生 	わかし遊び 町探検 ☆春野菜を育てよう 	地域安全マップを作ろう 地域を守る110番の家 わたしたちのくらしと商店 ☆七輪体験 	わたしたちのくらしとごみ すくごまつり SNSの使いかた講座 ☆地域の災害調べ 	☆運動や神社のよさ (福岡ウォークラリー下期) SNSの使いかた講座 運動小ボランティア 	☆運動や神社のよさ (福岡ウォークラリー下期) SNSの使いかた講座 運動小ボランティア 	中1～中3 部伍会活動 全生徒を居住地区ごとに分け、学年チームで学校内に編成した子どもの部伍です。 生徒と自治会、学校の三者で構成する「コミュニティ推進委員会」で事後打ち合わせを行い、各地区に分かれて自治会行事を支援します。 参加行事：クリーン作戦（地域清掃活動）、夏祭り、餅つき大会、地区運動会、スポーツ大会、資源回収 など 	中1～中3 部伍会活動 全生徒を居住地区ごとに分け、学年チームで学校内に編成した子どもの部伍です。 生徒と自治会、学校の三者で構成する「コミュニティ推進委員会」で事後打ち合わせを行い、各地区に分かれて自治会行事を支援します。 参加行事：クリーン作戦（地域清掃活動）、夏祭り、餅つき大会、地区運動会、スポーツ大会、資源回収 など 	中1～中3 部伍会活動 全生徒を居住地区ごとに分け、学年チームで学校内に編成した子どもの部伍です。 生徒と自治会、学校の三者で構成する「コミュニティ推進委員会」で事後打ち合わせを行い、各地区に分かれて自治会行事を支援します。 参加行事：クリーン作戦（地域清掃活動）、夏祭り、餅つき大会、地区運動会、スポーツ大会、資源回収 など 
特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア	特別活動 小5・6 JRCC委員会（青少年赤十字）：地域行事などの情報発信・地域掲示板カレンダーの作成・募金活動 小1～6 読み聞かせボランティア
CS実働部会 	CS実働部会 豊かな学力育成部会 健康体力向上部会 豊かな心育成部会 安心安全推進部会	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー	CS実働部会 サマースクール・家庭学習の習慣化（すくごのノート） すくごカレンダー（読書・読書・ゲーム・スマホ等） あいびつ推進部会 あいびつ推進部会 地域行事参加部会の推進・地域の防災、安全活動、☆福岡ウォークラリー

放課後子供教室（アンビシャス広場）

放課後や週末に、自治会や地域のみなさんの協力の下、子どもの体験活動や交流活動の場づくりを行っています。（写真は裏表紙にも掲載）

<春日小学校アンビシャス広場>

- ◆会場：春日小学校 ◯アフターアレンジメント ◯あそび研究所
- ◆会場：小倉公民館 ◯卓球教室 ◯公民館開放
- ◆会場：長町公民館 ◯子ども将棋クラブ
- ◆コミュニティ食堂での公民館開放
- ◆各種体験活動（イベント等）



<すくごアンビシャス広場>

- ◆会場：須玖小学校
- ◆折り紙とコーキクラブ ◯バドミントン
- ◆会場：須玖南公民館
- ◆自由クラブ（将棋・オセロ・輪投げ・カルタ等）

子ども食堂・コミュニティ食堂

「子どもから高齢者までたくさんの方が関わりあえる居場所づくり」をモットーに平成29年から活動し、地域に定着しています。中学生ボランティアもスタッフとして活躍しています。

- 写真左：コミュニティ食堂昇町
 （会場：昇町公民館）
 石：牧国の里ふれあい子ども食堂
 （会場：弥生・須玖南公民館で相互開催）



学校支援ボランティア

コミュニティ・スクールでの教育活動には、小学校を中心に、多くの保護者や地域の方がボランティアとして参加しています。

PTAの一人一役や委員会活動などのお手伝い、比較的簡単な丸付けのボランティア、専門的な知識、スキルを生かしたゲストティーチャーなど、内容は多岐にわたります。

得意なことを生かしながら、子どもと関わるのが単純に楽しかったり、また、授業参観では見られない子どもの様子に触れることができます。

写真：すくごのサポーター（保護者による福岡ウォークラリーの引率）



魅せよう！春日のあやじ力！！

おやじの会は、保護者や地域の方（元保護者など）による任意団体です（母親も当然参加OK）。「できる人、できることを、できる範囲で」など無理しすぎない活動をモットーに、自分たちも楽しみながら子どもの健全育成を支え、数多くの教育・体験活動や学校・地域行事を支援します。

写真左：春日おやじの会 集合写真
 右：春日おやじの会 防災訓練
 ※須玖小には「まっすぐ育て隊」があります。



小中9年間の地域連携カリキュラム及び地域学校協働活動の一覧
 保護者や転入検討者向けへの訴求力を重視してデザイン

◆ 市教委による継続的支援⑤：研修

市教委主催研修(CSトップセミナー
：校長、運協会長、推進員対象。
教育長と指導主幹が講師)



市教委主催研修（県外視察）
⇒研修実施方針を定め、このほかに
も体系的・計画的に研修を実施



地域で子どもを育てる交流会
(学校・家庭・地域の三者の交流)



地域コーディネーター連絡会議
(推進員の情報交換・隔月開催)

◆ 伴走支援のベースとなる現場主義

1 コミュニティ・スクール

- 学校運営協議会委員として、全校に市職員を各 2 人配置
- 地域教育課職員は、全校に委員又はオブザーバーとして 1 人以上配置

2 地域学校協働活動推進員

- 市教委職員と推進員による定例的会議
- スマホアプリでの日常的なやり取り（情報提供、情報交換、個別相談）

3 地域学校協働活動

- 市教委職員による地域訪問、取材等で人材情報を把握、関係構築
- 学社かかわらず人材情報を活用（協働活動の担い手、新規推進員等）